

# 「高等学校 政治・経済」シラバス

科目	政治・経済	単位	2	学年	2年	文系クラスのみ
使用教科書	「改訂版 政治・経済」(数研出版)			副教材等	「最新図説 政経」(浜島書店)	

学習の到達目標	広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
---------	---

評価の観点			
a. 関心・意欲・態度	b. 思考・判断・表現	c. 資料活用 of 技能	d. 知識・理解
現代の社会と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。	現代の社会と人間にかかわる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	現代の社会と人間にかかわる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の社会的事象と人間としての在り方生き方とにかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。

年	月	学習項目	学習内容(ねらい) および評価の観点	評価の観点				評価方法
				a	b	c	d	
1	4	<b>第1節 民主政治の基本原則</b> 1 政治と法 2 民主政治のあゆみ 3 民主政治の基本原則とその展開 4 政治体制の比較	・日常生活の中で、政治や法との関わりを実感することができる《関心》 ・市民革命以降の民主政治の歴史的なあゆみを理解できる《知識》 ・民主政治の基本原則を、身近な集団生活の中で活用できる《技能》 ・現代の社会における民主政治の価値やその必要性を評価できる《思考》 ・日本と各国の政治体制を比較して、その違いを理解できる《知識》	○	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査
	5	<b>第2節 日本国憲法と基本的人権</b> 1日本国憲法の基本的性格 2基本的人権の保障 3日本国憲法の平和主義	・日本国憲法と明治憲法を比較して、それぞれの特徴を理解できる《知識》 ・日本国憲法が、明治憲法よりいかに民主的であるかを考えることができる《思考》 ・主権者として、どのように政治に関わるかを意識することができる《関心》 ・日本国憲法にある権利を、身近な事例で示すことができる《技能》 ・日常生活における事例を、憲法の条文と関連づけて考えることができる《関心》 ・自衛隊や日米安保のあゆみと現状とを関連づけて理解できる《知識》 ・日本国憲法の平和主義を、現在の日本をとりまく国際情勢の中で評価できる《思考》	○	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査
	6・7	<b>第3節 日本の政治機構</b> 1国会のしくみと役割 2内閣と行政機構 3裁判所のしくみと人権保障 4 地方自治のしくみと住民生活	・国会・内閣・裁判所のしくみとその役割・関係を理解できる《知識》 ・国会での審議や内閣の閣議など、時事問題に関心を持つことができる《関心》 ・司法権の独立と違憲審査権など司法の特徴を理解できる《知識》 ・裁判員制度の導入によって、司法がどう変わったか考えることができる《思考》 ・地方自治のしくみを理解し《知識》、実際の地方自治を点検する《関心》ことができる ・近年の地方分権政策によって、地方がどう変わったか考えることができる《思考》	○	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査

期	月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	a	b	c	d	評価方法
1	7	<b>第4節</b> <b>政治参加と民主政治の課題</b> 1 戦後政治と政党 2 選挙制度のしくみ 3 世論と情報化社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現実の選挙に対して、その争点や結果についてコメントできる《関心》</li> <li>・ 小選挙区、大選挙区、比例代表などの選挙の方法を比較できる《技能》</li> <li>・ 戦後の日本の政党政治のあゆみと「55年体制」を理解できる《知識》</li> <li>・ マスコミの報道等が、世論の形成に与える影響を分析できる《技能》</li> <li>・ マスコミのあり方とそれに対する個人のあり方について考えることができる《思考》</li> </ul>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業態度</li> <li>・ 発問評価</li> <li>・ 小テスト</li> <li>・ 提出課題</li> <li>・ 定期考査</li> </ul>
	9	<b>第1節</b> <b>国際政治の動向</b> 1 国際社会の特質 2 国際社会と国際法 3 国際社会の組織化 4 戦後国際政治の展開 <b>第2節</b> <b>国際社会の課題と日本の役割</b> 1 核兵器の廃絶と軍縮問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主権国家と国際社会を比較して、国際社会の特質を理解できる《知識》</li> <li>・ 国際社会における国際法の意義を考え、具体的な例をあげることができる《思考》</li> <li>・ 国際連合設立の必然性を理解し《知識》、その課題を考える《思考》ことができる</li> <li>・ 第二次世界大戦後の国際政治のあゆみを、概観して理解できる《知識》</li> <li>・ 第二次世界大戦後の米ソの軍拡競争と軍縮のあゆみを理解できる《知識》</li> </ul>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業態度</li> <li>・ 発問評価</li> <li>・ 小テスト</li> <li>・ 提出課題</li> <li>・ 定期考査</li> </ul>
2	10	2 地域紛争と人種・民族問題 3 日本の国際的地位と役割 <b>第1節</b> <b>経済活動の意義と経済体制</b> 1 人間と経済活動 2 資本主義経済の発展と変容 3 経済活動の主体 <b>第2節</b> <b>現代経済のしくみ</b> 1 市場経済のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民族・地域紛争の背景を知り、その展開と結果を確認できる《知識》</li> <li>・ 国際社会における日本の地位や立場の変化を把握できる《技能》</li> <li>・ 国際社会が、日本に対して期待している役割について考えることができる《思考》</li> <li>・ 資本主義経済と社会主義経済のしくみと特徴を比較・理解できる《知識》</li> <li>・ 資本主義経済の歴史的発展過程を把握して、現状を認識できる《知識》</li> <li>・ 経済活動の主体が、現実にとどのような活動をしているか考えることができる《思考》</li> <li>・ 市場機構を理解して、市場経済に関する基本的知識を理解できる《知識》</li> </ul>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業態度</li> <li>・ 発問評価</li> <li>・ 小テスト</li> <li>・ 提出課題</li> <li>・ 定期考査</li> </ul>
	11	2 物価の動向 3 国民所得と経済成長 4 財政のしくみと租税 5 金融のしくみと働き  <b>第3節</b> <b>日本経済と福祉の向上</b> 1 戦後日本経済のあゆみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 習得した経済用語で現実の経済問題を説明できる《関心》《技能》</li> <li>・ アルバイトなどの経験を通し《技能》、企業や経済に関心を持つ《関心》ことができる</li> <li>・ 物価の動向に対して敏感で、その変動の背景を推察して考えることができる《関心》</li> <li>・ 国民所得や経済成長を理解し《知識》、豊かさとは何かを考える《思考》ことができる</li> <li>・ 景気循環の要因を理解し《知識》、有効な経済政策を考える《思考》ことができる</li> <li>・ 財政・租税と金融のしくみとその役割について理解できる《知識》</li> <li>・ 日常の経済生活における、財政や金融の具体的な働きを考えることができる《関心》</li> <li>・ 高度経済成長からの産業構造の変化を資料等で確認し《技能》、その問題点について討論する《思考》《関心》ことができる</li> </ul>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業態度</li> <li>・ 発問評価</li> <li>・ 小テスト</li> <li>・ 提出課題</li> <li>・ 定期考査</li> </ul>

年次	月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	a	b	c	d	評価方法
2	12	2 中小企業と農業・食料 3 公害防止と環境保全 4 消費者問題と消費者保護 5 労使関係と労働市場 6 少子高齢社会と社会保障	<ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業は、どのような企業活動を行っているか考えることができる《思考》</li> <li>公害問題について、過去の歴史を振り返り、その取り組みを確認することができる《知識》</li> <li>消費者問題の具体例をあげ《技能》、消費者のあり方について考える《思考》ことができる</li> <li>日本の労使関係を理解し《知識》、労働問題について考える《思考》ことができる</li> <li>日常生活に見られる高齢化や少子化の具体的な影響について考えることができる《思考》</li> </ul>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>小テスト</li> <li>提出課題</li> <li>定期考査</li> </ul>
		<b>第1節 国際経済の動向</b> 1 貿易と国際収支 2 国際経済のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボーダレス化やグローバル化を、話題にすることができる《関心》</li> <li>貿易のしくみと国際収支の各項目の内容を理解できる《知識》</li> <li>第二次世界大戦後の国際経済のあゆみとその特徴を理解できる《知識》</li> </ul>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>小テスト</li> <li>提出課題</li> <li>定期考査</li> </ul>
		<b>第2節 国際経済の課題と国際協力</b> 1 地球環境と資源・エネルギー問題 2 発展途上国の経済と経済協力 3 国際経済における日本  <b>第1節 現代日本の諸課題</b> 1 少子高齢社会と社会保障 2 地域社会の変貌と住民生活 3 雇用と労働をめぐる問題 4 産業構造の変化と中小企業	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球環境問題に対して、個人ができることを考えて実践できる《関心》</li> <li>国際経済の実態を把握し《技能》、南北問題に有効な方策を考える《思考》ことができる</li> <li>日本経済の位置を統計資料で把握し《技能》、国際貢献について考える《思考》ことができる</li> <li>日本のこれまでの貿易摩擦の実態を時期別に比較して発表できる《技能》《思考》</li> </ul>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>小テスト</li> <li>提出課題</li> <li>定期考査</li> </ul>
3	3	5 農業と食料問題 6 大規模自然災害とエネルギー問題  <b>第2節 国際社会の諸課題</b> 1 地球環境と資源・エネルギー問題 2 国際経済格差の是正と国際協力 3 人種・民族問題と地域紛争 4 国際社会における日本の立場と役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状を統計などで把握し《技能》、これからの農業について考える《思考》ことができる</li> <li>東日本大震災を思い起こし《関心》、今後日本がどのようにエネルギーを確保していくのか、具体的に考える《思考》ことができる</li> </ul>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>小テスト</li> <li>提出課題</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>地球規模の諸課題に対して、積極的に関心を持ち、解決することへの意欲があり、その方法を考える態度が備わっている《関心》</li> <li>地球環境問題の現状を調べ、わかりやすく発表できる《技能》</li> <li>地球規模の環境問題に対して、日本が果たすべき役割について考え、自分たちには何ができるのかを考えて実践できる《思考》《関心》</li> <li>南北問題の実態を把握し《技能》、その解決方法を考える《思考》ことができる</li> <li>ODAなど格差を是正する動きと、その成果を評価できる《思考》</li> <li>民族問題や地域紛争の背景を知り《知識》、その関連について考える《思考》ことができる</li> <li>国際社会における現在の日本の立場を、多面的に考察できる《関心》</li> <li>国際社会に対する興味を高め《関心》、日本の役割を考える《思考》ことができる</li> </ul>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		

